

ブラジル大統領選挙プレビュー：ボルソナロ氏が優勢に

- 第一回投票を前に大統領選挙戦はボルソナロ氏の優勢に傾く。大統領選挙はボルソナロ氏対ハダジ氏の両極対決に。
- 教育水準と所得水準の高い青年層がボルソナロ氏の主な支持者。弱点とされた女性からの支持率も改善傾向。
- 市場はボルソナロ氏の支持率上昇を好感。決選投票の不透明感は残り、市場は大統領選挙の行方を慎重に注視へ。
- 大統領選挙と同時実施の議会選挙も次期政権の政策の方向性を左右。大統領と議会の関係に注目集まる。

ブラジル大統領選挙はボルソナロ氏の優勢に傾く

Datafolhaの最新世論調査によれば、極右候補のボルソナロ氏(PSL、下院議員、元陸軍大尉)の支持率が35%へ上昇し、10月7日の第一回投票を目前に控え、大統領選挙戦はボルソナロ氏の優勢に傾きつつあります(図1)。

ボルソナロ氏に続いて、ルーラ元大統領から労働者党(PT)の大統領候補を引き継いだハダジ氏(元サンパウロ市長)が22%と第2位の支持率を維持しています。

一方、多数の中道政党からの支援を受けたアルキミン氏(PSDB、元サンパウロ州知事)の支持率は8%と低迷しており、大統領選挙はボルソナロ氏(極右)対ハダジ氏(左派)の両極対決となる公算が高まっています。

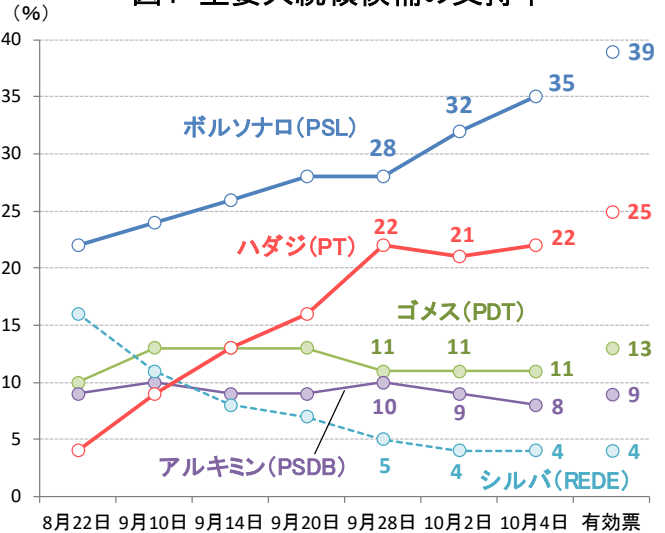
ただし、有効票ベースの支持率では、ボルソナロ氏の支持率は39%と過半数に届いていないことから、大統領選挙は10月28日の決選投票までもつれる可能性が高そうです(第一回投票で有効票の過半数を得る候補がいらない場合、上位2名による決選投票が実施される)。

ボルソナロ氏とハダジ氏の支持者には大きな違い

ボルソナロ氏を支持する有権者には、①男性、②30歳台前半までの青年層、③高等教育以上の教育を受けた中所得～高所得層、などの特徴があります(図2)。一方、ハダジ氏の支持者は、過去のPT政権の社会保障政策の恩恵を受けた低所得層が中心となっており、ボルソナロ氏の支持者とは大きな違いがみられます。

ボルソナロ氏は過去の女性への差別的発言や統規制緩和を容認する姿勢などから、女性からの支持率の低さが弱点とみられてきましたが、足元では女性有権者からの支持率も改善傾向にあります(女性からの支持率は8月22日時点の14%から10月2日時点では27%へ上昇)。

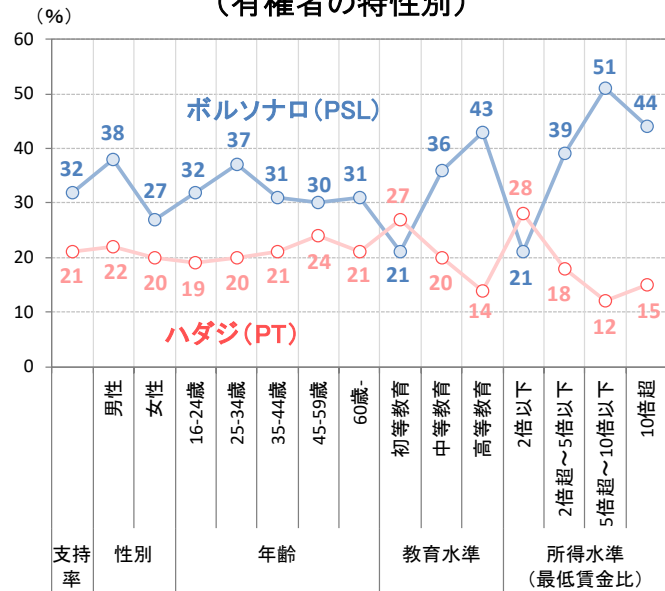
図1：主要大統領候補の支持率



(出所)世論調査会社Datafolha

(注)有効票は白票を除いて支持率を再集計したもの(10月4日時点)。

図2：ボルソナロ氏とハダジ氏の支持率 (有権者の特性別)



(出所)世論調査会社Datafolha (注)2018年10月2日公表。

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。



市場はボルソナロ氏の支持率上昇を概ね好感

ボルソナロ氏の足元の支持率上昇に対して、金融市場は概ね好感している模様です。レアルの対米ドル相場は、9月13日の1米ドル＝4.21レアルから10月4日の3.87レアルへ8.6%のレアル高・米ドル安が進んだほか、主要株価指数のボブスパ指数も83,000ポイント前後の水準へ持ち直しています(図3)。

ボルソナロ氏への市場の評価の背景には、市場寄りの経済政策を提唱する政策顧問パウロ・ゲデス氏(ブラジルで著名なヘッジファンド創業者)の存在があると考えられます。ボルソナロ氏の経済政策の公約には、①現行のブラジル中銀の政策運営の維持や、②財政健全化や税制改革の推進、③積極的な民営化、④緩やかな年金改革の推進、などが含まれています。

(関連マーケットレター)
「ブラジル大統領選挙の主要候補の経済政策を比較」(8月28日)

市場は不透明な大統領選挙の行方を慎重に注視

もっとも、足元のレアルの対米ドル相場は、2016年初近辺(ルセフ元大統領の弾劾運動が高まる直前)と同等の低水準にあり、市場は決選投票に向けて不透明感が残る大統領選挙の行方を慎重に注視しているとみられます。

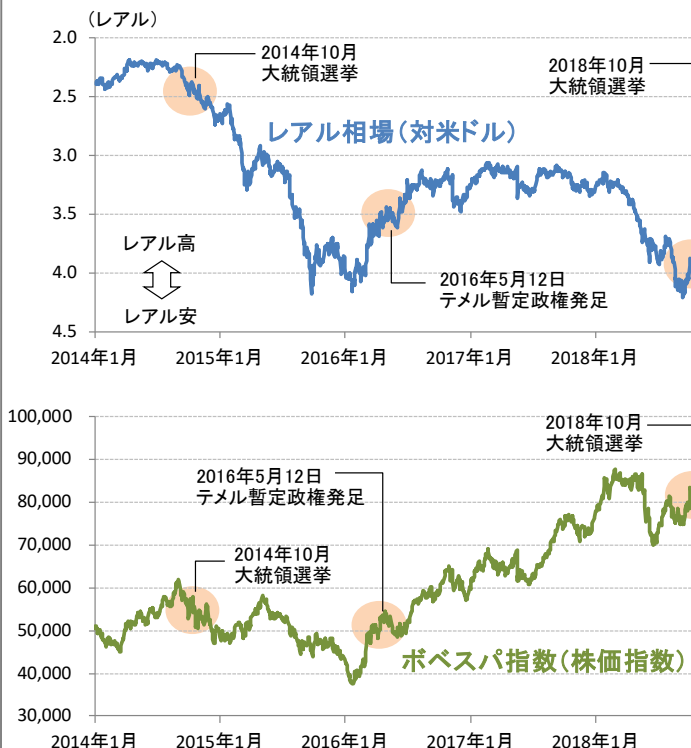
大統領選挙がボルソナロ氏対ハダジ氏の決選投票となった場合の支持率調査では、両者の支持率はなお拮抗状態にあります(図4)。決選投票に向けてどちらの候補が支持率で抜け出すかは、第一回投票で敗れた陣営がどちらの支持に回るかも重要な焦点となりそうです。

議会選挙の結果が次期政権の政策の方向を左右

また、今回の大統領選挙を受けて発足する次期政権の政策の方向性は、大統領と議会の交渉によって形作られるため、大統領選挙と同時に実施される議会選挙(上院・下院)の動向にも注目が集まります(図5)。

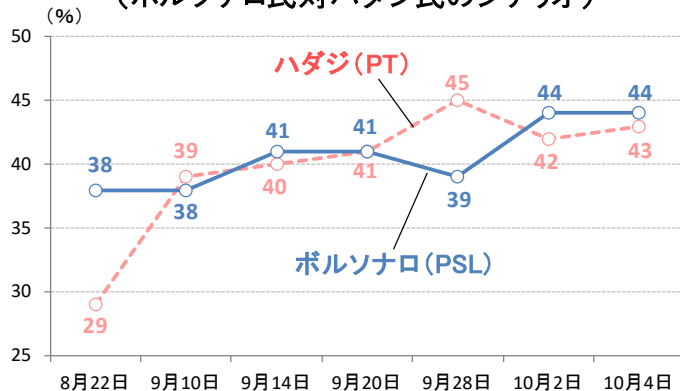
特に年金改革など憲法改正が必要な重要政策の実現には、議会の60%以上の賛成が必要になるため、大統領と議会が良好な関係を築けるか否かが、次期政権の政策実行力を測るポイントと考えられます。

図3:レアル相場とブラジル株の推移



(出所)ブルームバーグ(期間)2014年1月2日～2018年10月4日

図4:大統領選挙の決選投票での支持率 (ボルソナロ氏対ハダジ氏のシナリオ)



(出所)世論調査会社Datafolha

図5:今後の大統領選挙のスケジュール

- 10月4日:政見放送の最終日(最後のテレビ討論会を開催)
- 10月7日:第一回投票(大統領、上院・下院議員、州知事、州議会議員を選択する統一選挙)
- 10月12-26日:決選投票に向けた政見放送
- 10月28日:決選投票(大統領・州知事選挙)

(出所)選挙高等裁判所(TSE)、各種報道